

# ボウリングスコアデータベースシステムの構築

005137 友利 明智

(指導教員 速水 治夫 教授)

## 1 はじめに

ボウリングを行うと、結果であるスコアシートは紙で渡される。そのため、スコアシートは次第に量が増えていき、かさばってしまう。これでは、自分の見たいスコアを探すのに時間と手間がかかってしまい大変面倒である。自分のボウリングスコアを管理するシステムはすでに存在するが、検索結果の表示方法がスコアシートの様に各フレーム毎の結果が分かるものは無い。そこで、自分の見たいスコアを簡単に短時間で探し出せ、また、システムに対する抵抗感を無くし、馴染みやすさをだすため、スコアシートの様に各フレーム毎の結果が分かることを目的としたシステムを構築した。

## 2 システム構成

本システムには Visual Basic 6.0 を使い、データベースには Microsoft Access 2002 を用いて構築した。

本システムは、まずメイン画面からスコア入力画面へ移動し、スコアを入力する。スコア入力画面を図1に示した。



図1 スコア入力画面

その入力されたスコアをデータベースに保存し、検索を出来るようにした。利用日、スコア、連続ストライク数で検索ができ、検索画面には常にゲーム数、アベレージ、ハイスコアを表示させた。検索画面は図2に示した。メイン画面から検索画面へ移動し検索条件を入力した後、検索ボタンを押すことによって指定した条件のスコアが画面に表示される。そのことによって、利用者が見たいスコアを見ることが出来る。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2004/01/23	25	46	84	84	101	108	117	146	163	171
2004/01/27	20	38	55	75	103	123	141	149	156	171
2004/01/27	27	47	66	84	103	112	142	172	202	232
2004/01/27	7	25	34	38	54	60	68	88	107	116

図2 検索画面

## 3 評価

本システムの評価を得るため、ボウリング中級者の20代の男性に使用してもらった。スコアの入力から検索結果の表示までを行ってもらい、評価を得た。その結果、自分の見たいスコアを探し出すのに、紙のスコアシートからよりも簡単に短時間で探し出すことが出来るようになった。また、検索結果の表示方法も好感を得た。そのほかに、他にも機能が良かったところが面白い、もっと見やすくしたほうが良い、再度検索するのにクリアボタンを押すのが面倒、アベレージとハイスコアの表示によって自分の腕前が分かって良い、などの意見も得た。

## 4 まとめ

本システムにより、自分の見たいスコアを探し出すのに、紙のスコアシートからよりも簡単に短時間で検索できるようになった。これは、スコアシートの量が増せば増すほど、その差は大きくなっていくことが分かる。また、検索結果の表示方法も、利用者にとって分かりやすく馴染みやすいものとなった。しかし、検索条件の追加やグラフによる表示など、本システムにはさまざまな機能が追加できることが考えられる。また、使いやすさやスコア表示部以外の見やすさを向上させることも必要であると感じた。